

宝林宝樹

(15)



今年（令和四年）のNHK大河ドラマ『鎌倉殿の十三人』がとても面白く、毎週楽しみにしています。その作中に出てくる占い師が、ある人物の悩みに答える場面で、とても興味深い台詞がありました。

「お前の悩みは、どんなものであっても、それはお前一人の悩みではない。遙か昔から、同じことで悩んできた者がいることを、忘れるな。この先も、お前と同じことで悩む者がいることを、忘れるな。悩みというのは、そういうものじゃ。お前一人ではないんだ」

というものです。お釈迦様も多くの経典の中で、人間は昔からずっと、そしてこれからもずっと、同じことで悩んでいくだろうと言っておられます。

それは「苦」すなわち「自分ではどうすることもできないこと」「全般を指すのですが、昔の人も今の我々と同じような悩みがあって、同じように嫌な気持ちになっていたんだなあと思うと、少し安心しますね。

我々が抱える悩みというものは、言ってみれば「人間あるある」「人類あるある」とでも呼べるものなのかもしれませんね。

宝林宝樹

(15)



今年（令和四年）のNHK大河ドラマ『鎌倉殿の十三人』がとても面白く、毎週楽しみにしています。その作中に出てくる占い師が、ある人物の悩みに答える場面で、とても興味深い台詞がありました。

「お前の悩みは、どんなものであっても、それはお前一人の悩みではない。遙か昔から、同じことで悩んできた者がいることを、忘れるな。この先も、お前と同じことで悩む者がいることを、忘れるな。悩みというのは、そういうものじゃ。お前一人ではないんだ」

というものです。お釈迦様も多くの経典の中で、人間は昔からずっと、そしてこれからもずっと、同じことで悩んでいくだろうと言っておられます。

それは「苦」すなわち「自分ではどうすることもできないこと」「全般を指すのですが、昔の人も今の我々と同じような悩みがあって、同じように嫌な気持ちになっていたんだなあと思うと、少し安心しますね。

我々が抱える悩みというものは、言ってみれば「人間あるある」「人類あるある」とでも呼べるものなのかもしれませんね。